

BTCC 仮想通貨取引所

低スプレッド、手数料はわずか 0.03% ↓

今すぐ口座開設

- ✓ 各国のライセンスを取得
- ✓ 30+の通貨ペアを取扱う
- ✓ 7日×24時間  
カスタマーサービス

- ✓ 10,000ドル付きのデモ口座
- ✓ 10~150倍の  
柔軟なレバレッジ
- ✓ 法定通貨の入金に対応

## Holo(HOT)について

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/markets/Holo>

Holo(HOT)は、既存のインターネットシステムを変えることを目的に開発が行われているプロジェクトである。

2017年に誕生したホロチェーン財団が運営するプロジェクトとして、Holo(HOT)は、[暗号資産\(仮想通貨\)](#)を発行するプロジェクトでありながら、ブロックチェーンを使用しない独自のエコシステムを構築しており、[ブロックチェーン](#)に代わる技術として世界的に注目を集めている。

また、日本ではホロチェーン協会というものも立ち上がっており、独自のアプリ開発が行われているため日本でも知っている人が多いプロジェクトとなっている。

### 1. 独自のシステムを使うことで低料金で高速な取引を実現

Holo(HOT)独自のチェーン「Holochain」にDHT(分散ハッシュテーブル)を使用することで、個人が使用しやすいエコシステムを構築している。

Holo(HOT)ではDHT(分散ハッシュテーブル)を使用するため、高性能なコンピューターや大量のトークンを必要としない。

DHT(分散ハッシュテーブル)では、1つのブロックに対して、全てのノード(承認作業をする機会)が協力して取引承認をする仕組みになっている。そのため、承認作業をするための条件がなく誰でもトランザクションの承認に携わることができ、これによって取引速度の工場を実現している。

### 2. 自分のコンピューター容量を提供できる

Holo(HOT)では、自分のコンピューター容量を提供することで暗号資産の報酬を獲得することができる。

Holochainでは、個人のコンピューター容量を使用することで、中央集権的なインターネットを使用せずに行っているため、個人のコンピューター容量を提供することで報酬が得られる。

容量の提供は独自のソフトウェアもしくはハードウェアを使うことで誰でも可能となっている。

### 3. 誰でも **hApp(Holochain Application)** を作成できる

hApp(Holochain Application)とは、ブロックチェーン上のアプリDapps(分散型アプリケーション)と同様のもので、Holochain 上に作られるためhAppと呼ぶ。

hAppはP2P取引を目的としており、サプライチェーン、SNS(LINEやFacebookのようなアプリ)、P2Pプラットフォーム(Uberなど)の用途で使用されることを目指している。

 [ホワイトペーパー](#)

 [公式サイト](#)